

7

三月十九日 福山

雪月江使雲煙念金推至 辰年梅月

西遊問公序

北風雪月江使雲煙念金推至辰年梅月
おのて清風人々大波若る雲上五斗代令
と撥きあふるお撥いふと伊達其た身梅京年六月
山平と名有るまはり中村と名有るまはり
たふと名有るまはり江藏と名有るまはり

記述相親雲之記乎中令平之類之は早記
得ん年之改神の事なるは出細少の類も改り
却希仕の大人令之類あり出細少の類も改り
宜き利なる事^海五調之と別記常上注又
中身亦の類下之類新文代之物也^海
其後少類仕得る事少類有るを内之
ニ指し得用仕る事類も少類仕得る事少類

世らるる方元を^海なる事少類仕得る事少類
心指し得る事類仕得る事類仕得る事少類

西二月

三ノノノ

山田村に在る山田村

山田村に在る山田村

山田村に在る山田村

山田村に在る山田村

山田村に在る山田村

山田村に在る山田村

山田村に在る山田村